



## 母親委員会便り 『ひだまりお母さん』

### 第 3 回研修会『家庭で伝えるいのちのはなし 子どもたちの体と心を守るために』

講師 滝和子さん (誕生学アドバイザー)

※誕生学とは「生まれてきたことが嬉しくなると、未来が楽しくなる」をコンセプトに、産み生まれる力を再認識して自尊感情を育むことを目的としたライフスキル教育プログラム

★30 年前とくらべて、今、子ども達は 600 倍の性情報にさらされており、私たち保護者は 600 倍の力を持つべき時代 (!) になっているそうです。

#### その原因は？

- ・ ネット情報の蔓延、商業的な性情報 (テレビ・漫画・雑誌特集など)
- ・ 自己肯定感の持てない身体感を持つ事も ← (ダイエット、細い体がキレイ…)

★今日からできる対策 (健康的な性意識を育むメインステージは家庭)

- ・ 優しい誕生の話から伝え、誕生の喜びを語る—ネガティブなイメージを植え付けない
- ・ 思春期でもたくさん話しかけて→「ごめんね」「ありがとう」「いいね!」の言葉がけでコミュニケーションを! (今の子ども達は “自己承認” して欲しいという意識が強い。)
- ・ 子ども達は、蔓延する情報の中で、本来は必要な予防に対する {知識 意識 判断力} が低い→だからこそ正しい情報を、たくさん与えてあげる (誤った情報を見極められる力を与える) ことが必要なのです。

#### ★おススメ図書★

##### 子供におススメの本

「セイリの味方スーパームーン」高橋由為子著 偕成社

「おれたちロケットボーイズ」手丸かのこ・金子由美子著 子どもの未来社

##### 保護者におススメの本

「メグさんの性教育読本」メグ・ヒックリング著 木犀社

「いのちはどこからきたの?—9歳までに伝える『誕生』のしくみ」大葉ナナコ著 情報センター出版局

##### 子供と一緒に読みたい本

「いのちってスゴイ! 赤ちゃんの誕生—おなかの中のドラマと生きる力」大葉ナナコ著 素朴社

「赤ちゃんのはなし」マリー・ホール・エッツ著 福音館書店

「とにかくさげんでにげるんだ」ベティ・ボガホールド著 岩崎書店





## 「誕生学講座」の感想

- ★ 城内中学校  
今まで自分が出産した時のことは思い出さず機会はありませんでしたが、自分が産まれた時を思い描いたことはなかったので母のことを思い、いかに自分が大切に育ててもらったかということ思い出しました。子供たちが自分も子供を産みたい、親になりたいと思ってもらえるように育てているかなと自分の育児をふり返る素敵な時間になりました。産まれてきてくれてありがとう、子供達にぜひ言葉で伝えます。
- ★ 横内小学校  
子宮とは「命のお部屋」との表現にとっても感動しました。どの子どもこの世の生まれてきた優等生！そして、その素晴らしい命を生み育てた自分を誇らしく思いました。素敵なお話をありがとうございました。
- ★ 竜南小学校  
忘れかけていた子供達の誕生の時を思い出し、子供達を抱きしめたくなる様なお話でした。先生が言われてた様に誕生日は「産まれてきてくれてありがとう」の日にして、子供達に産まれた時の話をしていきたいと思います。
- ★ 東中学校  
心温まるお話からショッキングなお話まで、とても分かりやすく、また楽しく聴かせて頂きました。  
子供の誕生（存在）の喜びを語りつつ普段、言えそうでなかなか口に出せない「ごめんね」「ありがとう」「いいね」の言葉がけのスキンシップを心掛けたいと思います。
- ★ 安東小学校  
講師の先生が、日頃子ども達に語りかけるように、「命のはじまり」のお話をしてくれました。私が小学校の時、この話が聞けたら良かったと思う反面、今は情報が溢れている時代だからこそ、子ども達を守る上でこの様なお話が必要とされているのだと思いました。子ども達が危険な場面に直面したとき、「自分は愛されている」と思える力が正しい判断に進ませ、危険を回避できるのだと思いました。やはり我が子を守るのは親の愛なのですね。今日から出来る事に取り組んでいきたいと思います。
- ★ 伝馬町小学校  
誕生学のお話を聴いて、改めて私の子どもに生まれてきてくれてありがとう、思いました。まだまだ甘えん坊なので、ギュッと抱きしめてあげたいです。いつか体について話をする時には、命の大切さや自分の体の大切さを教えられる様にしたいと思います。
- ★ 千代田小学校  
日々の生活のなかでは、ついつい忘れがちな気持ちを思い出すことが出来てとても良い時間でした。あの日あの時、あなたに会えて本当に嬉しかった…この気持ちを、いつも心の片隅においておける余裕のある子育てをしたいなと思いました。
- ★ 城北小学校  
誕生学とは何だろう？と言う思いで参加させてもらいましたが、とても良いお話が聞けました。子供達が産まれてきた時のすばらしさからこれからの親との関わり方など、勉強になりました。
- ★ 安東中学校  
「いのちのおはなし」を聞いて、数十年前の我が子の誕生を思い出したあたたかい気持ちになりました。そして、子どもを取り巻く社会の現状を知り、家庭で正しい情報を伝えてあげることの大切さを知りました。まずは、子供たちに“いいね”“ありがとう”“ごめんね”を言葉で伝えることから始めたいと思います。
- ★ 葵小学校  
久しぶりに、子どもが授かった時からこれまでを思い出し、暖かい気持ちになりました。家に帰り子どもの顔を見たら、思わず抱きしめてしまいました。また、家庭に誕生の話などの本を置き、命の大切さや誕生の喜びを伝えていけたらと思います。